

【方向性3】 次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる ～子供がゆめを描けるまち～

具体目標	行動	取組例
1. 子供の多様性を尊重し、個性を伸ばす	① 子供に新たな知見を取り入れた最先端の教育を含む多様な教育を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ● アクティブラーニングなど自主性を育てるような教育を実施する ● 実践型インターンシップなど社会での実践の場をつくる ● 世界で起きていることと、金沢の身近で起きていることを関係づけて、感じたり考えたりできる学習を進める ・ グローバルスタンダードを意識した教育内容の導入 ・ 教育開発の知見を蓄積し、誰でも見られるようにする ・ SDGsをESDの一環として学ぶ ・ 世界のユネスコスクールと交流を進める ・ 仮称「金沢SDGs中学生会議」を開催する。（海外の交流校からも招請する。）
	② 地域と連携して学校外での子供の教育を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちのライフステージに応じた親の学びを充実する ● コミュニティ・スクールを全市で実施し、学校と地域、家庭の協力協働を進める ● 金沢の文化芸術分野で活躍する人の協力を得て、児童館や保育施設などでの活動の創造性を上げる ・ 公民館や廃校を中心とした多様な学びの居場所をつくる ・ 多様な主体と、社会の仕組みを楽しく学ぶ場をつくる（選挙、民主、起業、街、仕事など） ・ 公共図書館や学校図書館における放課後学習支援を充実させる ・ 全天候型プレイパーク x 自然体験型宿泊施設を充実させる ・ 学校や公民館、子育て支援組織を中心とした放課後学習支援の充実（塾 or 自然体験 or 英会話 or プログラミングを選んで学べる環境など） ・ 金沢の習い事文化を豊かに経験できる仕組みをつくる ・ オルタナティブスクール(フリースクールを含む)と連携する
	③ 子供の可能性を大らかに認め、柔軟性のある個に寄り添った教育を推進する	<ul style="list-style-type: none"> ● 金沢の強みを活かした自然やアート、スポーツにふれる教育を充実させる ● 自由な発想、ワクワク感、認めあう環境をつくる ● L G B T、障害のある人などと場をともにするインクルーシブ教育を充実させる ・ 遊びや余白の時間を増やす
	④ 特別な支援を必要とする子供たちに多様な選択肢を提供する	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別支援教育を放課後支援も含めて充実させる ● 障害のある児童生徒の就学就労等に関する情報を市民で共有する ・ 児童発達支援センターを中心となって障害児支援事業者間が連携を進め、障害のある児童への地域支援体制を構築する ・ 就学支援、就園奨励制度を充実する(放課後学習支援を含める)

【方向性3】 次代を担う子供たちの可能性を引き出す環境をつくる ～子供がゆめを描けるまち～

具体目標	行動	取組例
<p>2. すべての子供たちが安心して暮らし育つことができる環境をつくる</p>	<p>①家庭が困窮な状況にあっても生活できるよう支援する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童養護施設や里親の元で暮らす子供たちの生活を充実させる ● 子供の支援団体のネットワーク化を進め、連携により貧困家庭への支援体制を強化する ● 子どもソーシャルワーカーを増員する ・ こども食堂の運営に企業から資金面での支援を行う
	<p>②子供を、学校・家庭・地域のみんなで見守り、子供に起きている深刻な問題を見逃さない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童虐待や非行、貧困など子供に関連する問題が市民の誰にでも理解されるよう見える化する ・ 虐待などの通報がきたものを対処するのではなく、虐待が起きないための対策を実施する ・ 児童相談所の人的配置等を拡充し、きめ細かで適切かつ迅速な対応を充実する ・ 金沢方式の公民館の自主性を高め、企業、NPOなどと連携し、問題を抱える子供たちの受け入れ体制を整える ・ 家庭と学校・幼稚園・保育園、児童相談所・子育て支援団体の連携を進める
	<p>③親も子供も安心して笑顔で暮らせるまちをつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域や職場で子育ての喜びや課題などを共有できるようにする ・ 地区児童館、放課後児童クラブの機能を強化する ・ 家庭や地域の総ぐるみで子育てを行えるようにする ・ 子供の環境向上につながる親への支援を官民が連携して行えるようにする。 ・ 働く親が家庭教育や学校教育、地域の活動に参加しやすくするための働き方改革を進める ・ 親子の接する時間を選択できるようにする (もつとふれあいたい人はふれあい、自分の時間が欲しい方はサポートを得られる環境を整える) ・ 子供が外に出かけられる、親子で外に出かけやすい、優しい街をつくる
	<p>④子供に関わるあらゆるセクターの連携を強化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭と学校・幼稚園・保育園、児童相談所・子育て支援団体の連携を進める ・ 子供たちの命をつなぐ教育と福祉の連携における金沢方式の導入
<p>3. 学校に多様な人が連携して関わることで、学校に関わる全ての人々が幸せになる</p>	<p>①みんなが学校について話し合ったり関わったりする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校について広く話し合う場、専門家や現場関係者による議論の場を持つ ● 学都である金沢の強みを生かして、大学生が教育現場や子供に積極的に関わる ● 部活動の指導に民間を活用する ・ 民間による学校、先生のサポート体制、コーディネーターの設置 ・ SDGsをイメージできるプロモーションビデオを作成し、発信する(取組み側も盛り込む)
	<p>②独自の教育を展開するための資源を確保し、学校の自由度を上げる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● NPOなど学外の人材を活用する仕組みをつくる ● 子供が地域の未来を担うことについて納税者の理解を得る。そのための発信や議論を実施していく ・ 教育ファンドを設立する
	<p>③先生が成長し続けられる環境をつくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 先生のワークライフバランスを改善する ● 教員が持続可能な社会を描くスキルを身につけるための研修や実践を続けるとともに、外部との接点を増やす ● 多様な人材を教員に採用する ・ 先生のメンタルケアを重視する